

# 平成28年度 保健福祉部 医療制度改革担当部長の目標宣言

保健福祉部 医療制度改革担当部長 井上 稔

## 1 部長メッセージ

医療・公的年金などの社会保障制度は、いずれも市民の暮らしにとって重要不可欠なものであり、少子高齢化の下、持続可能な社会保障制度の構築が求められています。

このうち、国民健康保険制度は、国民皆保険制度を支える医療のセーフティーネットとして市民の健康を支えています。しかしながら、低所得者や高齢で医療の必要性の高い加入者が多いなど、構造的な問題により財政運営は厳しい状況が続いています。

このような状況を踏まえ、医療費の適正化や自主財源の確保に向けた取り組みを図り、より健全な財政運営に努めてまいります。

また、将来にわたり持続可能な医療保険制度を構築するため、平成30年度までに順次講じられる医療保険制度改革への着実な対応を行ってまいります。

所属職員に対しましては、研修等を通じて自己研鑽を促し、受益と負担の均衡がとれた持続可能な社会保障制度の確立に伴う制度改革などについて、市民のみなさまに対する十分な説明や、日常業務への的確な対応の確保を図っていきます。

## 2 部の主な役割と運営資源

### (1)主な役割

保健福祉部医療制度改革担当は、国民健康保険事業の円滑な運営、後期高齢者医療事業、国民年金の各業務の適正な執行、及び平成30年度までに実施される国民健康保険などの医療保険制度改革への対応についての役割を担っています。

### (2)職員数

正職員 16人、臨時職員等 8人(正職員のうち1名は、神奈川県後期高齢者医療広域連合に派遣)

### (3)構成する課等

保険年金課

### (4)予算額(平成28年度歳出、一般会計・特別会計)※職員給与費を除く

- ・一般会計 2,023,943 千円(うち、一般財源 1,610,918 千円)
- ・国民健康保険事業特別会計 11,992,533 千円(うち、一般財源 3,608,381 千円)
- ・後期高齢者医療事業特別会計 1,109,494 千円(うち、一般財源 10,065 千円)

### 3 平成28年度の取組方針

(1) 医療保険制度や国民年金制度の適正な運営等を図ります。

国民健康保険では、医療費動向等を把握しながら、医療費適正化や国保税の収納率向上などの財源確保に努め、円滑で健全な財政運営を図ります。

後期高齢者医療では保険料徴収など、また国民年金制度では年金相談など、それぞれ市の担当する業務において、適正な執行を図ります。

(2) 医療保険制度改革への着実な対応等を図ります。

持続可能な社会保障制度の構築に向け、国民健康保険などの医療保険制度改革について、着実な対応を図ると共に可能な限り市民の皆様へ情報提供を行っていきます。

また、保険税等の収入と医療費等の支出動向を把握し、受益者負担(保険税)の適正化を図ります。

#### 4 平成28年度の具体的な取組と達成目標

NO.	取組名 (担当課名)	取組内容	達成目標	各種計画との関連
1	国民健康保険事業の適正な運営の推進 (保険年金課)	・国民健康保険事業の適正な運営を目指して、医療費の適正化を推進するとともに、自主財源確保のため、国民健康保険税の収納率の向上を図ります。	[目標値] ・国民健康保険税収納率(現年分) 90%以上 ・特定保健指導実施率 前年度実績以上 ・KDB システムを有効に活用できる職員の育成	第四次行財政改革推進計画(国民健康保険事業特別会計における一般会計繰入金の縮減)
2	医療保険制度改革への着実な対応 (保険年金課)	・国県からの情報収集に努めながら、平成 30 年度までに実施される国民健康保険などの医療保険制度改革への着実な対応を図ります。また、医療費の支出動向等を把握し、必要に応じ受益者負担(保険税)の見直しを検討いたします。	[目標値] ・国民健康保険などの医療保険制度改革への着実な対応 ・受益者負担(保険税)の見直しを検討	第四次行財政改革推進計画(国民健康保険税の適正化)